

YAMAHA

Clavinova[®]

CLP-260

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・クラビノーバをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

クラビノーバは、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、伝統に培われた感性と先進のエレクトロニクス技術を結集して完成させた、画期的な鍵盤楽器です。

ピアノの原理を応用した小気味良いタッチ感覚のAE鍵盤をはじめ、音色にはリアルで高品位なAWM音源、洗練された様々な機能の採用により、クラビノーバならではの豊かな演奏感を体感していただけます。さらには、デジタル楽器の統一規格・MIDI端子に加え、拡張用の接続端子も装備しており、演奏表現の可能性がいろいろ広がります。

本書では、クラビノーバの魅力をいつまでもお楽しみいただけますよう、正しい取り扱い方法を説明しています。ぜひ一読ください。



もくじ

	ページ
ご使用前に.....	1
クラビノーバの組み立てかた.....	1
各部の名称とはたらき.....	3
さあ/弾いてみましょう.....	4
いろいろな機能や効果を活用しましょう	
デモ演奏を聴いてみましょう.....	5
ペダル効果.....	5
デュアル機能.....	6
トランスポーズ(移調)機能.....	6
ピッチコントロール機能.....	7
楽譜の読みかた.....	8
弾き語り講座.....	9
練習曲(赤いスイートピー).....	11
MIDIで楽しみましょう.....	13
MIDIインプリメンテーションチャート.....	19
仕様.....	20
オプション(別売品)のご紹介.....	20
アフターサービスと保証.....	21

ご使用前に

設置場所

- 次のような場所でご使用になりますと、故障などの原因となりますのでご注意ください。
- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
 - ・温度の特に低い場所
 - ・湿気やホコリの多い場所
 - ・振動の多い場所

お取り扱い

- 落としたり、物をぶつかけたり、上に物を置くなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

電源の処置

- ご使用後は電源スイッチを切ってください。

外装のお手入れ

- お手入れは、乾いた布でカラぶきするか、汚れのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、ビニール製品を上には置かないでください。

他の電気機器への影響

- ラジオやテレビの近くで使用しますと、ラジオやテレビに雑音が発生したり、誤動作することがあります。十分に離して使用してください。

保証書の手続き

- お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをとってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも修理の費用をいただくことになりますので、充分ご注意ください。

保管

- この取扱説明書をお読みにになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

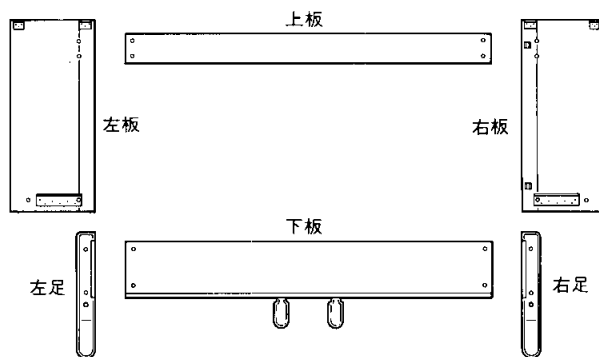
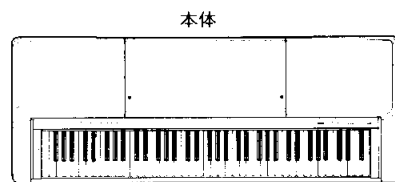
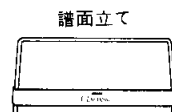
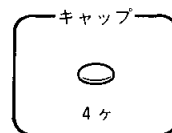
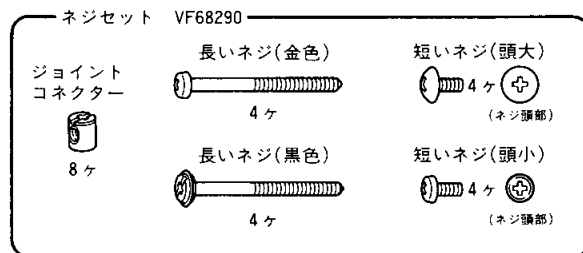
クラビノーバの組み立てかた

部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立ててください。

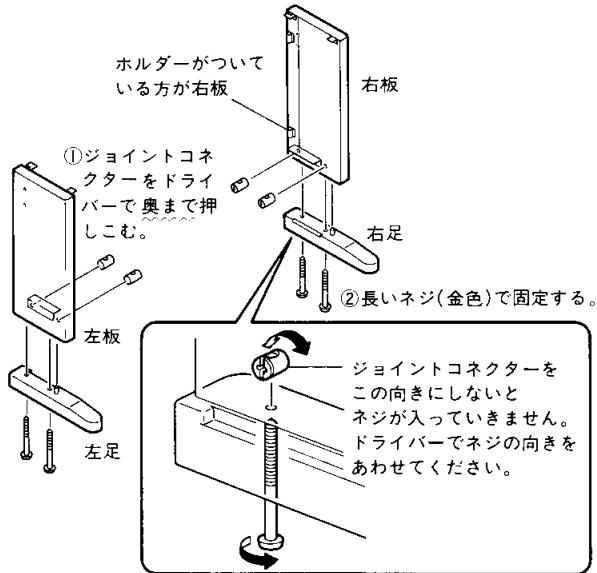
1.+ (プラス)のドライバーを用意します。



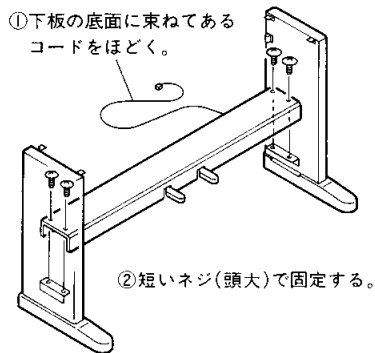
2.箱を開けて部品を取り出します。そして部品がすべてそろっているか確かめてください。



3. 右板と右足、左板と左足を固定します。

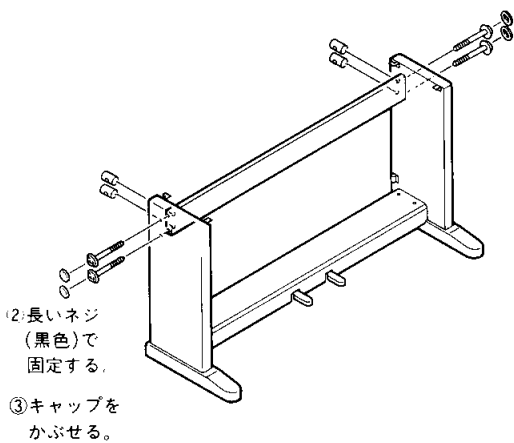


4. 下板を固定します。

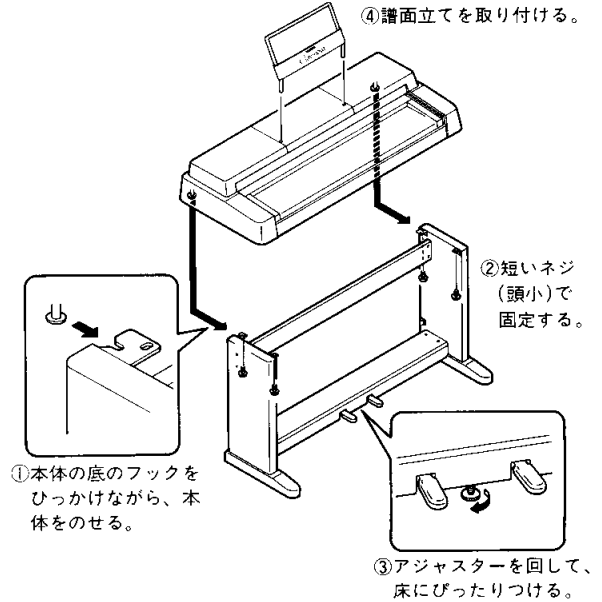


5. 上板を固定します。

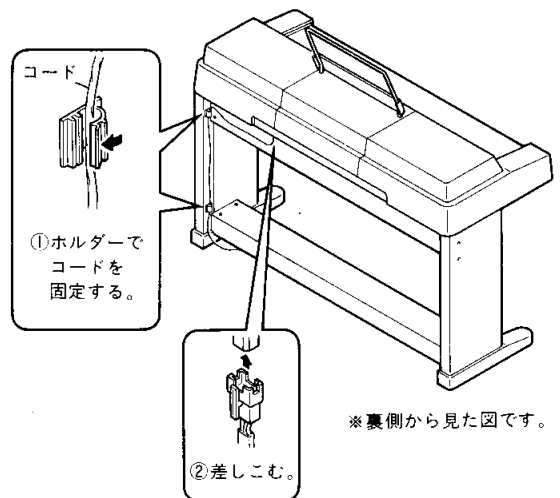
①ジョイントコネクターをドライバーで奥まで押し込む。そして向きをあわせる。



6. 本体をのせる。



7. コードを接続する。



各部の 名称とはたらき

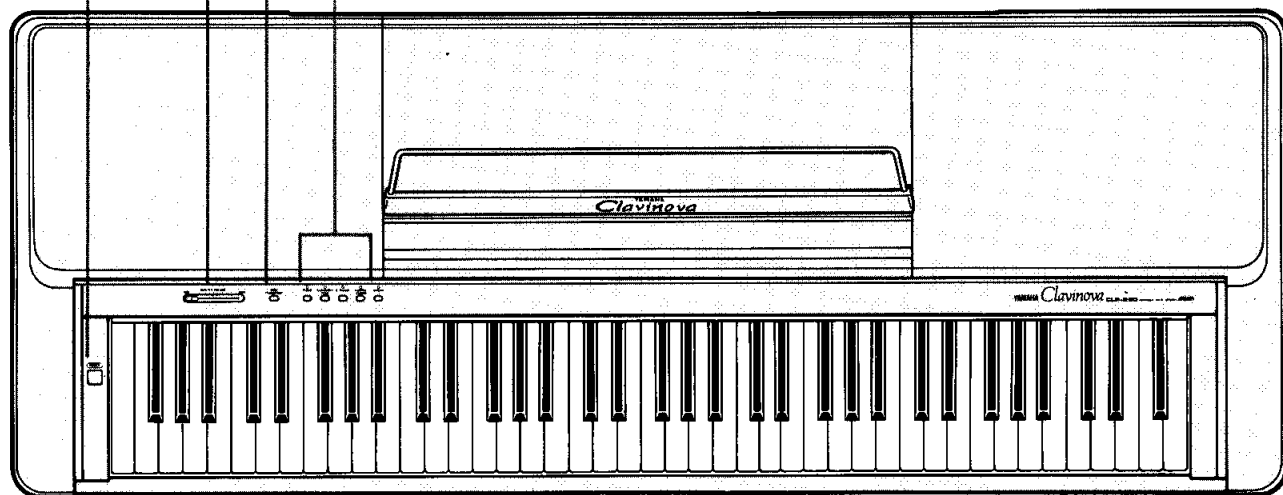
電源スイッチ (※4ページ)

ボリューム (※4ページ)

MIDI/トランスポート ボタン (※5、6、15ページ)

音色切替ボタン (※4ページ)

※マークのところにくわしく説明してあります。



ヘッドホン端子 (裏面にあります)

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンを使うと、クラビノーバのスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも周りに迷惑をかけることはありません。

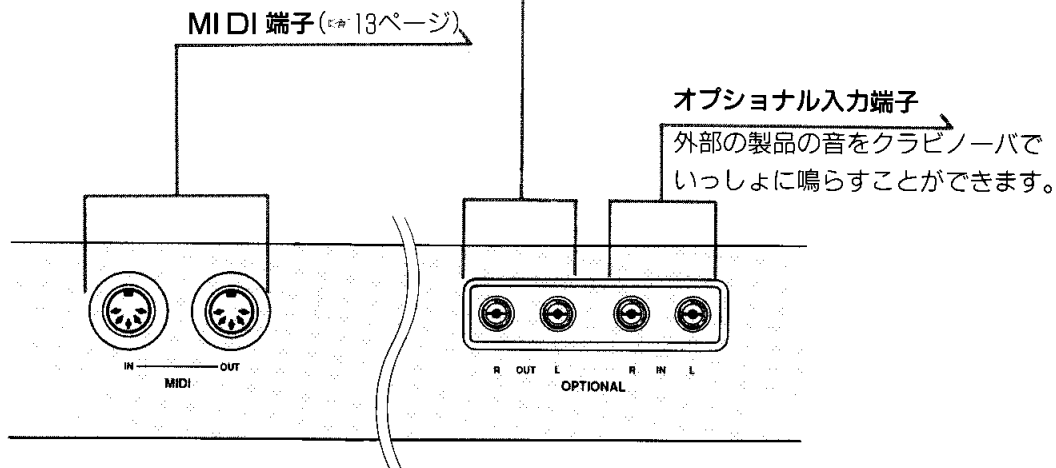
オプション出力端子

外部の製品にクラビノーバの音を送ることができます。

MIDI 端子 (※13ページ)

オプション入力端子

外部の製品の音をクラビノーバでいっしょに鳴らすことができます。



さあ！ 弾いてみましょう。

1. 電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)に差し込みます。

2. 電源スイッチをオンにします。

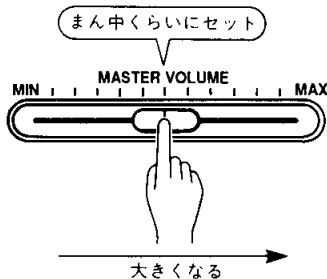


★電源スイッチをオンにした時は、いつもピアノの音色が選ばれています。

★電源スイッチを押して約3秒くらいしてから、音を出せます。

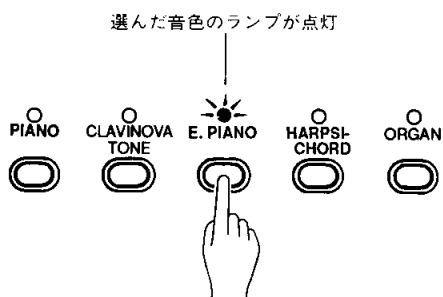
★電源スイッチをもう一度押すと、電源が切れます。

3. 音量を調整します。



★鍵盤を押して音を出しながら、ボリュームで調整してください。

4. 音色を選んでください。



★音色を2つ選んで、いっしょに鳴らすこともできます。(※6ページ)

★各音色はこんなイメージです。

ピアノ1:

コンサートグランドピアノの音。

クラビノーバトーン:

アンサンブル系の明るい音色です。

エレクトリックピアノ:

明るい電気ピアノの音。

ハープシコード:

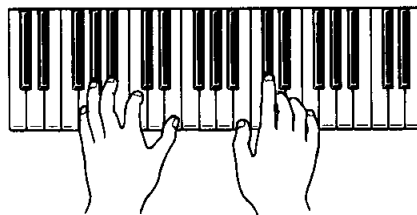
ハープシコード(バロック感覚の楽器)の音。

オルガン:

少し響きがあるオルガンの音。

※どの音色を選んだ場合も、押鍵を続けていてもだんだん音が小さくなっていきます。

5. 弾いてみましょう。



いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

★同時発音数は16音です。(16音ポリフォニック)ただし、クラビノーバトーンを選んだ場合は8音です。

※クラビノーバにはデュアル機能やペダル効果、トランスポーズ機能など様々な機能がありますが、それらは後で順に紹介していきます。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけることがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境をまもりましょう。

いろいろな効果や 機能を活用しましょう。

デモ演奏を聴いてみましょう

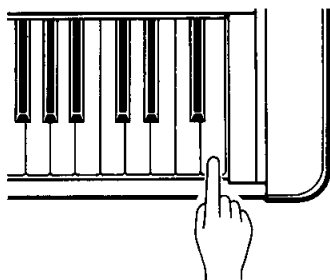
デモンストレーション曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。

デモ演奏のスタート方法

1. MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



2. 一番右の鍵盤(G6の鍵盤)を押します。



すると、デモ演奏がスタートします。

★デモ演奏は止めるまで何回でも繰り返し自動再生されます。止める時には、MIDI/トランスポーズボタンを押してください。

★デモ演奏を鳴らしている間は、鍵盤を押しても、その音は鳴りません。

ソフトペダルを踏むと……音が小さくなります。

ダンパーペダルを踏むと……音に余韻がついて響きが豊かになります（ダンパー効果）。

ソフトペダルをソステヌート

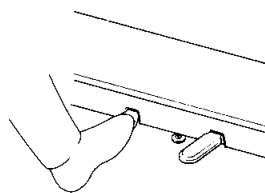
ペダルに切り替えただうえで踏むと……ペダルを踏んだ時に押えていた鍵盤の音だけに余韻がつきます（ソステヌート効果）。

ソフト/ソステヌート切替方法

1. MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



2. ソフトペダルを踏みます。

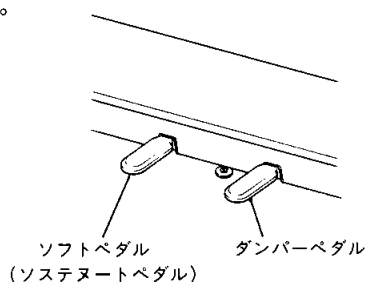


※もう一度踏むと、ソフト効果に戻ります。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもソフト効果が選択されています。

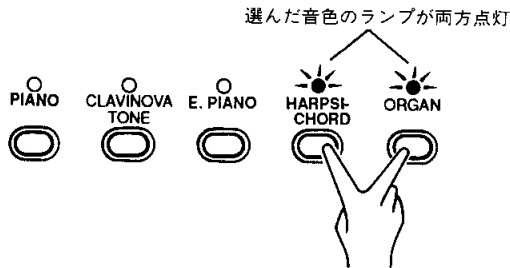
ペダル効果

スタンド部分には2つのペダルがついており、それぞれに役割があります。なお、左側のソフトペダルは希望に応じて切り替え、ソステヌートペダルとして使用することもできます。各ペダルによる効果をうまく使い分けてください。



デュアル機能

2つの音色を選んで同時に鳴らすことができます。



組み合わせたい2つの音色切替ボタンを同時に押します。

★曲の進行に合わせて、1音色の状態と2音色の状態を使い分けると効果的です。

★1音色の状態に戻りたい時は、通常通りに希望する音色のボタンだけを押してください。

★2つの音色の音量バランスは、あらかじめ決まっています。

★2音色の状態にすると、同時発音数は、通常16音発音の半分の8音になります。なお、クラビノーバトーンを含めた2音色にすると5音です。

トランスポーズ(移調)機能

押さえる鍵盤(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせることができます。(つまり、弾く高さで発音される音の高さをずらすことができます。)

★±6半音の範囲でずらすことができます。つまり“ド”の音なら高い方に最大で“ファの#”(半オクターブ)まで、低い方も最大で“ファの#”(半オクターブ)までずらすことができます。

たとえば+5半音ずらすと



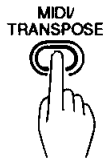
のように弾いたものが



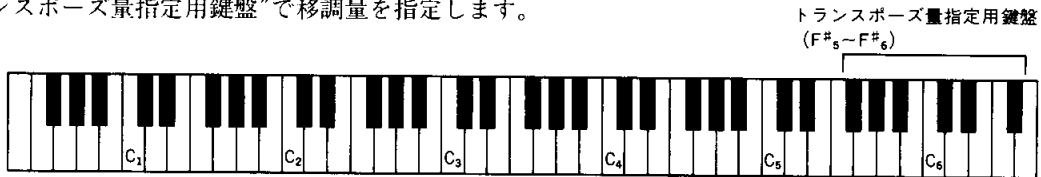
のように鳴ります。

■移調量の設定方法

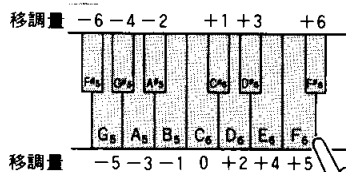
1. MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、



2. “トランスポーズ量指定用鍵盤”で移調量を指定します。



たとえば“ド”の音を“ファ”の音に変えたい時は、C₆よりも5半音高い鍵盤、つまりF₆の鍵盤を押します。



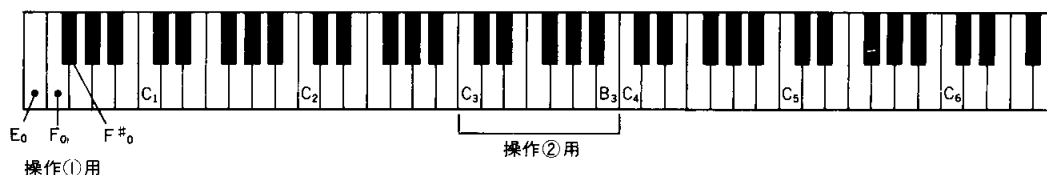
★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。

★この機能は、合奏などで弾き方を変えずに他の楽器とキーを合わせる時にも便利です。

ピッチコントロール機能

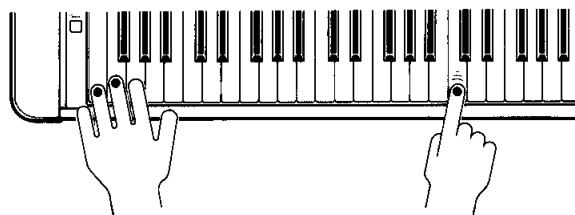
合奏の時などに、他の楽器と正確に音程を合わせることができます。つまり微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って他の楽器と音の高さを合わせます。

■音程の合わせ方



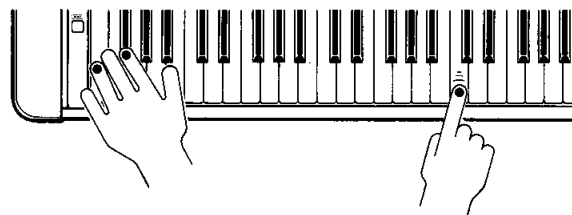
◆音程を上げる時

- ①上の図に示したE₀とF₀の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。音を聴きながらこきざみに音程を上げて、合わせてください。



◆音程を下げる時

- ①上の図に示したE₀とF₀の鍵盤を同時に押しながら、
- ②C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押します。1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきざみに音程を下げて、合わせてください。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも元の高さに戻っています。(A₃=440Hz)

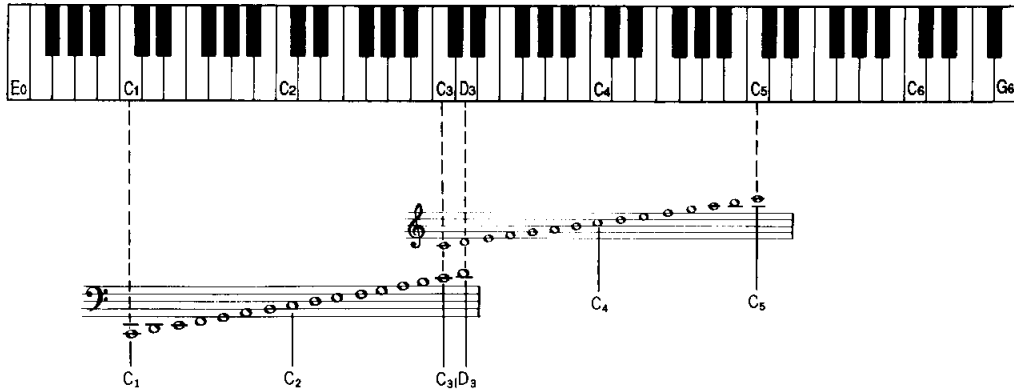
★元の高さ(A₃=440Hz)に戻す時は電源を入れなおすか、またはE₀、F₀、F₀[#]の3鍵盤を同時に押しながら、C₃～B₃のいずれかの鍵盤を押してください。

★±50セントの範囲、約3セントステップで設定できます。(参考：100セント＝半音)



楽譜の読みかた

■鍵盤と五線譜の関係



■音符と休符の長さ

音符		休符	
音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
全音符	4つ分のばす	全休符	4つ分休む
付点2分音符	3つ分のばす	付点2分休符	3つ分休む
2分音符	2つ分のばす	2分休符	2つ分休む
4分音符		4分休符	
8分音符	半分にする	8分休符	半分休む
16分音符	1/2にする	16分休符	1/2だけ休む
3連音符	3等分する		

(は 3 等分)

■記号の意味

記号と読み方	意味	記号と読み方	意味
# シャープ	半音上げる	: : リピート	くりかえし
b フラット	半音下げる	1. 2. 1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと2へ
 ナチュラル	もとの音にもどす	D.C. ダカーボ	最初からくりかえし
 タイ	音を続ける	D.S. ダルセーニョ	記号からくりかえし
 スラー	なめらかに	 Coda	くりかえしのあとからCodaへ
 フェルマータ	その音のをばす		
Tacet タセット	伴奏を休む		
Fine フィーネ	おわり		

弾き語り講座

たった1台で、メロディー、リズム、ハーモニーと音楽の3要素を表現できるスグレた楽器、ピアノ。でも、この3要素を全部ひとりで演奏するのはとても大変なこと。やっぱりそれなりに「レッスン」ということになってしまいます。

そこで、登場するのが『弾き語り』。3要素のうちメロディーの部分をやれば、残りのハーモニーとリズムだけをピアノで弾けばよいのです。これでかなり難しい曲も雰囲気を出しながら、やさしく演奏することができます。ピアノ弾き語りでは、おもに右手でコード(和音)を、左手でベースを担当し、右手と左手の弾くタイミングでリズムを作るというのが基本です。

STEP 1 まずは基本をしっかりと

コードには、いろいろな種類があって“C”“G”などアルファベット1文字のものをメジャーコード、“Cm”“Gm”など小さい“m”のついたものをマイナーコード、そして“C7”“G7”などをセブンスコードとよびます。メジャーコードは明るめ、マイナーコードはちょっと寂しげ、セブンスコードはハデな印象です。ベースの基本は、“Cm”“C7”だったらC音(ド)、“Gm”“G7”だったらG音(ソ)をおさえることです(これを専門用語ではルートとか根音と呼びます)。このコードとベースの弾き方を覚えると、たいいていの曲を弾くことができます。

STEP 2 フィーリングでひと工夫

“C”“G”“Am”“F”の4つのコードは、よく使われる代表的なものです。これらをマスターすると『ダイアナ』や『涙のリクエスト』など、たくさんの曲が弾けます。

EX.1 ダイアナ

by Paul Anka

© 1957 by PAMCO music inc.
The rights for Japan assigned to
musical rights (Tokyo) K.K.
日本音楽著作権協会(出)
許諾第906042-001号

EX.2

基本形

VARI.1

VARI.2

このようにCコードなら右手は“ドミソ”左手は“ド”、Amコードなら“ドミラ”と“ラ”を全音符で弾くのが、いちばんやさしい演奏法。あとは、その曲にあわせ、4分音符で刻んだり3連符で“ザザザ”とやるなどフィーリングでリズムに演奏を(EX.2)。あわせて左手のほうも工夫しよう。ここまでできるようになれば、コードネームとメロディーだけとか歌詞だけの楽譜を見てもいろいろなバリエーションでプレイを楽しむことができます。

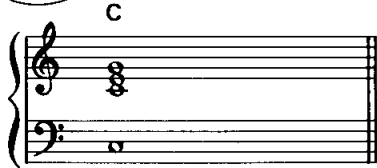
STEP 3 ちょっと高度にアルペジオ

コード演奏には、STEP 1・2でやってきたように“ジャン・ジャン・ジャン”とその和音を一度におさえる方法のほかに、アルペジオという弾き方があります。アルペジオというのは、その和音につかわれている音をバラバラにして演奏することで、分散和音ともよばれています。いま

までの弾き方ではなにか物足りないナァという時やメロウな感じの曲などで使う、ピアノ弾き語りには欠かせないテクニック。ここまでマスターすると演奏の幅がグーンと広がります。たとえば、コード演奏を下のEX.3-VAR 1・2のパターンで弾いても、また一味ちがった演奏に!

EX. 3

基本形



VARI.1



VARI.2



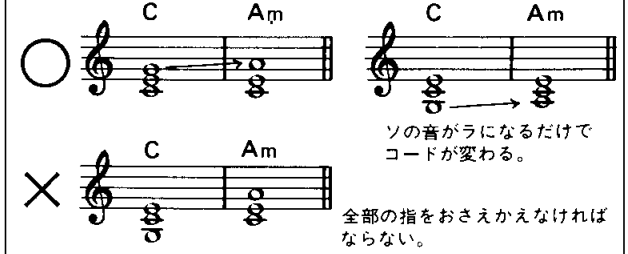
STEP 4 転回テクニックでラクラク演奏

さて、いままでは、Cコードを“ドミソ”、Amコードを“ドミラ”と覚えてきました。ところが、コードはいつもこういうふうには弾かなければイケナイというものではありません。音のつみかさねの順番をちょっと変えてCコードを“ソドミ”とか“ミソド”、Amコードを“ラドミ”“ミラド”と弾くこともできるのです。

ちょっと鍵盤をおさえてためてみましょう。“ドミソ”と“ソドミ”では響きがちがいますね。こういうふうには順番をかえる(=転回するといいます)テクニックを覚えると、雰囲気を変えられるというお楽しみメリットと同時に演奏をラクにすることができます。EX.4を見てくださ

い。このようにC→Amに変えるのも指1本をとなりに動かすだけ。しっかりマスターしてバラエティーに富んだ響きの流れるような演奏をモノにしましょう。

EX. 4



●それでは、11ページの「赤いスイートピー」で弾き語りにトライ!

「赤いスイートピー」のコード(右手)とベース(左手)のおさえ方

C Dm ConE G7 Em

Am C7 F E7 FonG

C Dm Em Am

One Point Advice

- ★イントロは譜面通りに
- ★[A][B][C]は左のようなストローク奏法が似合います。
- ★エンディングは譜面通りに。

練習曲

赤いスイートピー

Intro.

Medium Slow

作詞：松本 隆

作曲：呉田軽穂

Introductory piano accompaniment for the song. The music is in C major, 4/4 time, and marked 'Medium Slow'. The right hand features a melodic line with fingerings: 2 1 2 5 2 1. The left hand provides a simple harmonic accompaniment. Chords indicated above the staff are C, Dm, ConE, Dm 2 1 1, and G7. The dynamic marking is *mp*.

First system of the main melody. The music is in C major, 4/4 time, and marked 'Medium Slow'. The right hand features a melodic line with a slur over the first two measures. The left hand provides a simple harmonic accompaniment. Chords indicated above the staff are C, Dm, Em, Am, Dm, G7, and C. The lyrics are: はるいーろのきしゅに の っ て うみに - つれていっ てよー. The dynamic marking is *mp*.

Second system of the main melody. The music is in C major, 4/4 time, and marked 'Medium Slow'. The right hand features a melodic line with a slur over the first two measures. The left hand provides a simple harmonic accompaniment. Chords indicated above the staff are C, Dm, Em, Am, Dm, G7, and C7. The lyrics are: たばこーのにおいの シャ ツに そとと - よりそうか ら な ぜ し. The dynamic marking is *mp*.

Third system of the main melody. The music is in C major, 4/4 time, and marked 'Medium Slow'. The right hand features a melodic line with a slur over the first two measures. The left hand provides a simple harmonic accompaniment. Chords indicated above the staff are F, C, Dm, C7, F, E7, Am, and G7. The lyrics are: り あ っ た ひ か ら - は ん と し す ぎ て も あ な た - っ て て も に ぎ ら な い I will. The dynamic marking is *mp*.

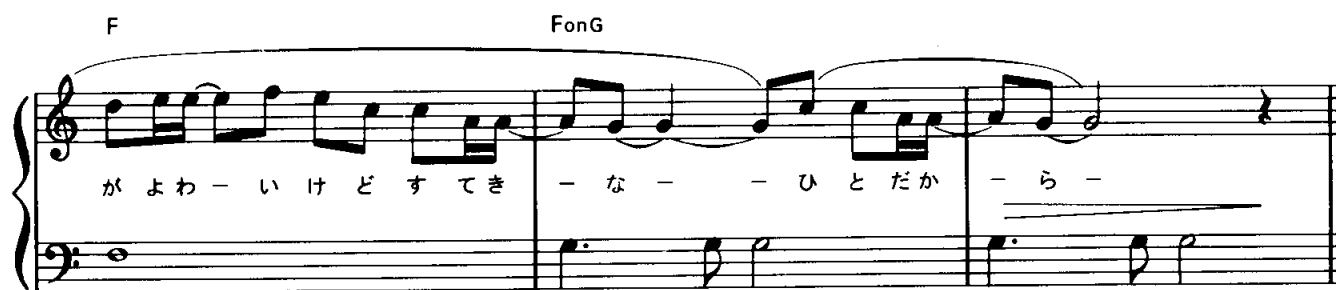
B C Em F FonG C Em



fol-low you—あな—toに—ついてゆ—きたい I will fol-low you—ちよ—っぴり—き

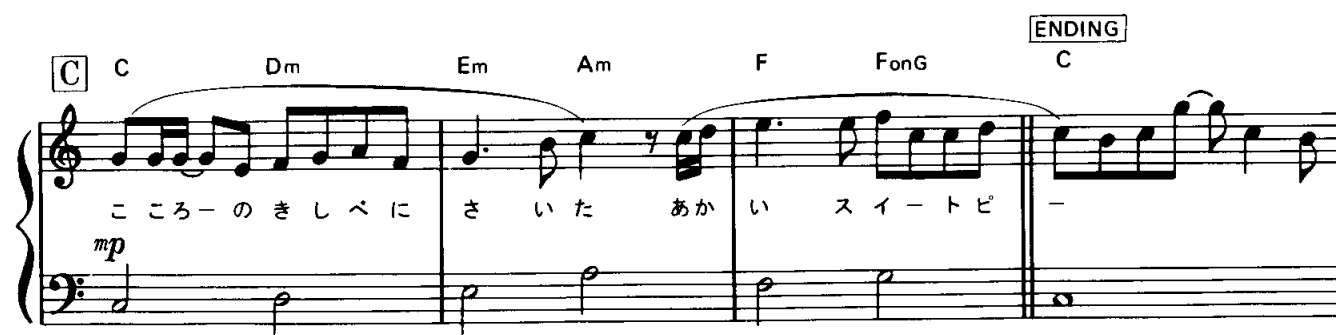
mf

F FonG



がよわ—いけどすてき—な—ひとだか—ら—

C C Dm Em Am F FonG C **ENDING**



こころ—のきしべにさいたあかいスイートピ—

mp

Dm ConE Dm G7 C



MIDIで 楽しみましょう。

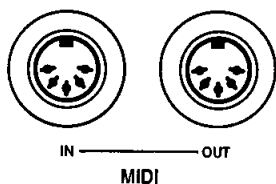
グラビノーバはMIDI機能(MIDI端子)をもった楽器です。ここでは、MIDI端子の説明やMIDI機能を使ってできること、MIDIに関する設定方法などを順に紹介します。

MIDIとは？

MIDIという言葉はミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス(Musical Instrument Digital Interface)の頭文字をとったもので、“ミディ”と読みます。MIDIは、2台以上のMIDI製品を接続して、それらの間で、演奏にまつわる様々なコントロールをさせようという目的で考え出された世界統一規格です。つまりMIDI機能は、他のMIDI規格の製品と接続して初めて使い道があるわけです。(MIDI製品には必ずMIDI端子があります。)

本機のMIDI端子

本機には、次のように2種類のMIDI端子があります。(MIDI端子の種類には3種類あり、他のMIDI製品にはこれ以外にMIDI THRUという端子が付いていることがあります。)



MIDI OUT(ミディアウト)

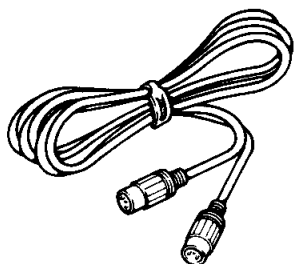
クラビノーバでの演奏内容等が出力されます。

MIDI IN(ミディイン)

他のMIDI製品からの演奏内容等を入力できます。

★MIDI接続には、別売のMIDIケーブルが必要です。

MIDIケーブル (MIDI-15: 15m) ¥3,000
(MIDI-03: 3m) ¥1,100

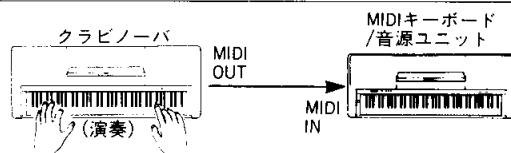


MIDIでできること

MIDIで何ができるかは、接続した機器との相性で決まります。簡単にいえば、両製品に共通したMIDI機能なら、とりあえず可能性ありということになります。MIDI製品と一口にいっても実に様々なものがありますので、ここでは代表的なものを選んで“できること”を紹介します。接続する製品の取扱説明書も合わせてご覧ください。

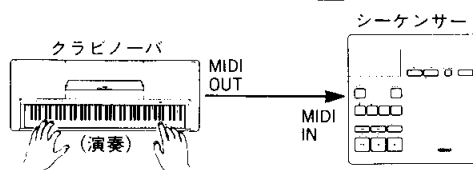
MIDI OUT端子を使ってできること

◆MIDIキーボードまたは音源ユニットを接続した場合



- ★クラビノーバで演奏すると、接続した製品もそれ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
- ★クラビノーバで音色を切り替えると、接続した製品の音色も同時に切り替わります。
- ★この他に下記のように情報を出力する機能があります。相手側が情報を受けてどう対応するかは、相手側のMIDI機能によって決まります。
 - ペダルを操作した時……ペダルを踏んだ/離れたを意味する情報を出力
 - パネルデータバルクダンプリクエストを受信した時 / パネルデータの送信の操作をした時……パネル上の設定状態を出力
- ※MIDIとは直接は関係ありませんが、相手側の音をクラビノーバのオプション端子(OPTIONAL IN)から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。
- ※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって相手側のMIDIキーボードとして、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。
- ※音源ユニットは簡単にいうとキーボードから鍵盤を除いたもの(=音源まわりを残したもの)だと思ってください。

◆MIDIシーケンサーを接続した場合



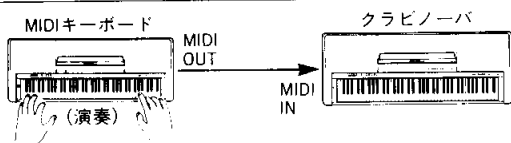
★クラビノーバでの演奏内容を、MIDIシーケンサーに記録できます。MIDIシーケンサーに演奏内容を記録すれば、後でそれを再生して自動演奏させることができます。

ここで一つ考えなければならないのは、同じように演奏内容を記憶させることができる機械にテープレコーダーというものがありますが、これとは実際には大きく異なることがある、という事実です。テープレコーダーには音そのものを記憶させますが、シーケンサーの場合は音ではなく、後で音を出すことができるように音を出すためのデータを記憶させるということです。事実、シーケンサーを再生する時には音を出す製品（MIDIキーボードや音源ユニットといわれるもの）を使わなければ音にはなりません。これからMIDIシーケンサーを使おうと思っている方は、このあたりの概念をまずはしっかりと理解してください。

★MIDIシーケンサーには、演奏内容だけでなく、音色の切替情報やイクスクループ情報（後述）を記録できるものもあります。

MIDI IN端子を使ってできること

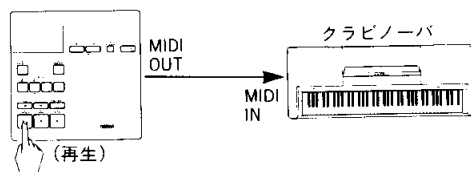
◆MIDIキーボードに接続した場合



- ★外部のMIDIキーボードで演奏すると、クラビノーバもクラビノーバ自身の音色で同時に鳴り、音に厚みができます。
 - ★外部のMIDIキーボードで音色を切り替えると、クラビノーバの音色も同時に切り替わります。
 - ★この他に下記のような情報を入力してクラビノーバをコントロール可能です。
 - ペダル効果をコントロールする情報
 - ボリュームをコントロールする情報
 - パネルデータバルクダンプのリクエスト情報
- ※MIDIとは直接は関係ありませんが、演奏側の音をクラビノーバのオプション端子（OPTIONAL IN）から入力して、クラビノーバのスピーカーでいっしょに鳴らすこともできます。

※クラビノーバもMIDIキーボードです。したがって外部のMIDIキーボードに、もう1台のクラビノーバを用いることも考えられます。

◆MIDIシーケンサーに接続した場合



★MIDIシーケンサーに記録済みの演奏内容を、クラビノーバの音色で再生できます。

MIDI関係の設定・機能

MIDIの機能を使う場合にもやはり設定が必要です。（設定しなくてもたまたま動くこともありますが……）

◆MIDIチャンネルの設定

MIDIの世界にも、テレビと同じようにチャンネルがあります。MIDIには1から16チャンネルまであり（テレビの場合は1から62ですね）、ほとんどのMIDI情報*に“この情報は〇〇チャンネルだよ”という信号が含まれています。そもそもなぜチャンネルが必要かというと、たとえばシーケンサーを再生した場合、シーケンサーのMIDI OUT端子からはいくつかのチャンネルの情報が次々に出力されます。そして1本のMIDIケーブルの中をいくつかのチャンネルの情報がいっしょに流れます。幸いにして各情報にはMIDIチャンネルが付けられていますので、受信側の製品でチャンネルを指定してやれば、必要なそのチャンネルの情報だけを選んで受け取ることができるわけです。そして、最も一般的なMIDIキーボードとMIDIキーボードの接続の場合にも、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させなければ、受信側で情報を受け取ることができませんので、受信側で当然音は鳴りません。

*チャンネルの信号が含まれていると都合の悪い情報には、チャンネル信号は逆に含まれていません。

送・受信チャンネルの設定方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、

②該当する鍵盤を押します。

●送信チャンネル

- 1 に切り替える場合.....C₁
- 2 に切り替える場合.....C#₁
- ⋮
- 16 に切り替える場合.....D#₂

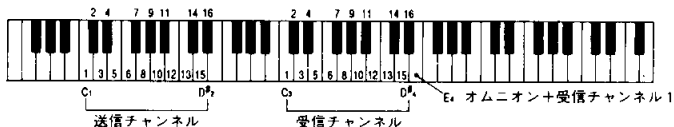
●オムニオフ+受信チャンネル

- 1 に切り替える場合.....C₃
- ⋮
- 16 に切り替える場合.....D#₄

●オムニオン+受信チャンネル

- 1 に切り替える場合.....E₄

※オムニオンは、チャンネル設定に関係なく、どのチャンネルのボイスメッセージ（鍵盤、ペダル、音色スイッチ等）でも受信する状態です。



★電源スイッチをオンにした時は、いつも送信=チャンネル1、受信=オムニオン+チャンネル1が選ばれています。

◆ローカルコントロールオン/オフの切替

ローカルコントロールオフという状態にすると、クラビノーバで演奏したにもかかわらずクラビノーバ自身では鳴らなくなります。ただしMIDI OUT端子からは、オン/オフにかかわらず演奏情報が出力されます。つまりローカルコントロールオフは、あえて外部の製品側だけで鳴らしたい場合に、クラビノーバで音が出ないようにするためのものです。

オン/オフの切替方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、

②ピアノボタンを押します。

- ローカルコントロールオフにする場合.....PIANOのランプを点灯させる。
- ローカルコントロールオンに戻す場合.....PIANOのランプを消灯させる。

★クラビノーバを受信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもローカルコントロールオンが選ばれています。

◆プログラムチェンジオン/オフの切替

プログラムチェンジオフという状態にすると、クラビノーバで音色を切り替えても、MIDI OUT端子へ音色の切替情報を出しなくなります。また、MIDI IN端子から音色切替情報を受けてもクラビノーバの音色は切り替わらなくなります。

つまり、クラビノーバだけで単独に音色を切り替えたい場合には、プログラムチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、

②クラビノーバトーンボタンを押します。

- プログラムチェンジオフにする場合.....CLAVINOVA TONEのランプを点灯させる。
- プログラムチェンジオンに戻す場合.....CLAVINOVA TONEのランプを消灯させる。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもプログラムチェンジオンが選ばれています。

◆コントロールチェンジオン/オフの切替

コントロールチェンジオフという状態にすると、クラビノーバでペダルなどを操作しても、MIDI OUT端子へそれらの情報を出力しなくなります。また、MIDI IN端子からそれらの情報を受けても、クラビノーバはそれに応じなくなります。

つまり、クラビノーバだけで単独にペダルを操作したい場合には、コントロールチェンジオフにしてください。

オン/オフの切替方法

①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、

②エレクトリックピアノボタンを押します。

- コントロールチェンジオフにする場合.....E.PIANOのランプを点灯させる。
- コントロールチェンジオンに戻す場合.....E.PIANOのランプを消灯させる。

★電源スイッチをオンにした時は、いつもコントロールチェンジオンが選ばれています。

◆マルチティンバーモードオン／オフの切替

マルチティンバーモードオンという状態にすると、チャンネル1～10のどのチャンネルの情報でも受信できるようになります。

たとえばシーケンサーに記録されている複数のチャンネルの演奏情報をクラビノーバに受信させ、それぞれの音色で同時に鳴らしたい時に、マルチティンバーモードオンにします。

オン／オフの切替方法

- ①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
- ②ハープシコードボタンを押します。

●マルチティンバーモードオンにする場合……

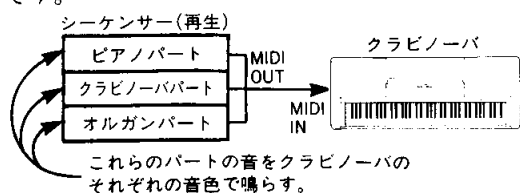
HARPSICHORDのランプを点灯させる。

●マルチティンバーモードオフに戻す場合……

HARPSICHORDのランプを消灯させる。

★クラビノーバを送信側にした場合は、この設定は一切関係ありません。

★マルチティンバーモードの代表的な使用例は次のとおりです。



つまり(別々のチャンネルで)シーケンサーに記録された様々なパートの演奏を、クラビノーバ1台で再生できます。(つまり、アンサンブルを楽しむことができます。)

★電源スイッチをオンにした時は、いつもマルチティンバーモードオフが選ばれています。

★同時に発音できるのは16音までです。

◆パネルデータの送信

パネルデータの送信の操作をすることにより、クラビノーバの音色選択の状態を送信することができます。これにより、もう1台のクラビノーバ(CLP-260)の音色選択を一致させることができます。

送信方法

- ①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
- ②オルガンボタンを押します。すると、すぐに音色選択の情報を送信します。

★2音色の状態も送信できます。

◆レッスンモードの切替

ディスクレコーダーEMQ-1にエデュケーショナルシリーズという再生専用ソフトを組み合わせ、それをクラビノーバを使って鳴らす場合のみ関係します。エデュケーショナルシリーズは左手パートと右手パートを独立させて再生できるソフトです。

このレッスンモード機能は、どちらかのパートを再生させて、それを聴きながらもう片方を練習できるようにしよう、というものです。

★左手パートはチャンネル2で、右手パートはチャンネル1でやりとりします。

左手レッスンモードにする場合

- ①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
- ②E₀の鍵盤を押します。すると、左手レッスン(右手再生)モードになり、右手パートを再生させながら、左手パートを練習することが可能になります。

★このモードにすると、オムニオフ+受信チャンネル1になります。

右手レッスンモードにする場合

- ①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
- ②F₀の鍵盤を押します。すると、右手レッスン(左手再生)モードになり、左手パートを再生させながら、右手パートを練習することが可能になります。

★このモードにすると、オムニオフ+受信チャンネル2になります。

両手再生モードにする場合

- ①MIDI/トランスポートボタンを押しながら、
- ②E₀とF₀の鍵盤の両方を押します。すると両手再生モードになり、両パートを再生させることが可能になります。

★このモードにすると、オムニオン+受信チャンネル1になります。

MIDIデータフォーマット

MIDIデータフォーマットを読める方をご覧ください。
CLP-260のMIDI仕様を素早く調べたり、細かく知るうえで役立つことがあります。

1. 送信データ

1-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

①ノートオン/オフ：鍵盤を押した時に送信します。

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k=28(E ₆)~103(G ₆)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

②コントロールチェンジ：各操作をした時に送信します。

ステータス	1011nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc	c=64(ダンパー), 66(ソステナート), 67(ソフト)
コントロール値	0vvvvvvv	v=0(オフ), 127(オン)

③プログラムチェンジ：音色を切り替えた時に送信します。

ステータス	1100nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
プログラムNo.	0ppppppp	p=0(PIANO), 1(CLAVINOVA TONE), 2(E.PIANO), 3(HARPSICHORD), 4(ORGAN)

1-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

①アクティブセンシング：約200msecごとに1回送信します。

ステータス	11111110(FEH)
-------	---------------

◆システムイクスクルーシブメッセージ

①パネルデータバルクダンプ：パネルデータバルクダンプリクエストを受信した時、またはパネルデータの送信の操作をした時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo.	01111100(7CH)	"パネルデータバルクダンプ"
バイトカウント	00000000(00H)	
バイトカウント	00010000(10H)	
	01010011(53H)	"S"
	01001011(4BH)	"K"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
	00110010(32H)	"2"
	00110001(31H)	"1"
	00110111(37H)	"7"
	00110010(32H)	"2"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
バージョンNo.	00110000(30H)	
	00110000(30H)	

データ	0ddddd	d=0(PIANO), 1(CLAVINOVA TONE), 2(E.PIANO), 3(HARPSICHORD), 4(ORGAN)
データ	0ddddd	d=0(ノーマル), 1(デュアル)
データ	0ddddd	デュアル時 d=0(PIANO), 1(CLAVINOVA TONE), 2(E.PIANO), 3(HARPSICHORD), 4(ORGAN)

チェックサム	0eeeeeee
EOX	11110111(F7H)

②モデルIDコードバルクダンプ：モデルIDコードバルクダンプリクエストを受信した時に送信します。

ステータス	11110000(F0H)	"システムイクスクルーシブ"
YAMAHA ID No.	01000011(43H)	"ヤマハ"
サブステータス	0000nnnn(0nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
フォーマットNo.	01111101(7DH)	"モデルIDコードバルクダンプ"
バイトカウント	00000000(00H)	
バイトカウント	00010000(10H)	
	01010011(53H)	"S"
	01001011(4BH)	"K"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
	00110010(32H)	"2"
	00110001(31H)	"1"
	00110111(37H)	"7"
	00110010(32H)	"2"
	00100000(20H)	スペース
	00100000(20H)	スペース
バージョンNo.	00110000(30H)	
	00110000(30H)	
	00100000(20H)	
	00100000(20H)	
	00100000(20H)	
	00100000(20H)	

2. 受信データ

2-1. チャンネルインフォメーション

◆チャンネルボイスメッセージ

①ノートオン/オフ：ノートNo.によって発音の音程が決まり、ベロシティによって音量が決まります。

ステータス	1001nnnn(9nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k=21(A-1)~108(C7)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=0~127(1~127:キーオン, 0:キーオフ)

②ノートオフ：ノートオフをステータス8nHで送り出す機器との対応のためです。

ステータス	1000nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
ノートNo.	0kkkkkkk	k=21(A-1)~108(C7)
ベロシティ	0vvvvvvv	v=無視します

③コントロールチェンジ：メッセージに従って各対応をします。

ステータス	1011nnnn(8nH)	n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
コントロールNo.	0ccccccc	c=7(ボリューム), 11(エクスプレッション), 64(ダンパー), 66(ソステナート), 67(ソフト)
コントロール値	0vvvvvvv	エクスプレッション, ボリューム v=0(最小), 111(-3dB), 127(最大) ボリューム以外 v=0~63(オフ), 64~127(オン)

- ④プログラムチェンジ：プログラム No. によって音色が決まります。なお、指定番号よりプログラム No. の大きいメッセージは無視します。

ステータス 1100nnnn(CnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 プログラムNo. 0ppppppp p=0(PIANO), 1(CLAVINOVA TONE),
 2(E.PIANO), 3(HARPSICHORD),
 4(ORGAN)

◆チャンネルモードメッセージ

メッセージに従って各対応をします。

ステータス 1011nnnn(BnH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 コントロールNo. 0ccccccc c=121(リセットオールコントローラー*)
 122(ローカルコントロール),
 123(オールノートオフ*),
 124(オムニオフ/オールノートオフ),
 125(オムニオン/オールノートオフ)
 コントロール値 0vvvvvvv ローカルコントロール v=0(オフ), 127(オン)
 ローカルコントロール以外 v=0

*リセットオールコントローラーおよびオールノートオフは、オムニオフの時のみ認識します。

2-2. システムインフォメーション

◆システムリアルタイムメッセージ

- ①アクティブセンシング：受信すると、センシングを開始します。その後 400msec の間ステータスもデータもこない場合には、発音を強制的に停止させます。

ステータス 1111110(FEH)

◆システムイクスクルーシブメッセージ

- ①パネルデータバルクダンプリクエスト：このメッセージを受信すると、パネルデータを送信します。

ステータス 11110000(FOH) "システムイクスクルーシブ"
 YAMAHA ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 サブステータス 0010nnnn(2nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 フォーマットNo. 01111100(7CH) "パネルデータバルクダンプリクエスト"
 EOX 11110111(F7H)

- ②モデルIDコードバルクダンプリクエスト：このメッセージを受信すると、モデルIDコードを送信します。

ステータス 11110000(FOH) "システムイクスクルーシブ"
 YAMAHA ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 サブステータス 0010nnnn(2nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 フォーマットNo. 01111101(7DH) "モデルIDコードバルクダンプリクエスト"
 EOX 11110111(F7H)

- ③パネルバルクデータ：このメッセージを受信すると、パネル上の各設定が変わります。(ボリュームは動きません。) データについては、送信データの項を参照。

- ④マルチティンバーモードオフ：このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオフになります。

ステータス 11110000(FOH) "システムイクスクルーシブ"
 YAMAHA ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 SK ID 01110011(73H)
 機種ID 01111111 i=1(共通ID), 35(CLP-260)
 データ 00010011(13H)
 EOX 11110111(F7H)

- ⑤マルチティンバーモードオン：このメッセージを受信すると、マルチティンバーモードオンになります。

ステータス 11110000(FOH) "システムイクスクルーシブ"
 YAMAHA ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 SK ID 01110011(73H)
 機種ID 01111111 i=1(共通ID), 35(CLP-260)
 データ 00010101(15H)
 EOX 11110111(F7H)

- ⑥受信チャンネルの切替：このメッセージを受信すると、受信チャンネルの設定がn+1チャンネルになると共に、オムニオフになります。

ステータス 11110000(FOH) "システムイクスクルーシブ"
 YAMAHA ID No. 01000011(43H) "ヤマハ"
 SK ID 01110011(73H)
 機種ID 01111111 i=1(共通ID), 35(CLP-260)
 サブステータス 0111nnnn(7nH) n=0(チャンネルNo.1)~15(チャンネルNo.16)
 EOX 11110111(F7H)

CLP-260

MIDIインプリメンテーションチャート

Date:1990.6.7
Version:1.0

ファンクション…	送	信	受	信	備	考
ベーシック電源ON時 チャンネル設定可能	1チャンネル 1~16チャンネル		1チャンネル 1~16チャンネル			
モード電源ON時 メッセージ 代用	モード 3 × *****		モード 1 オムニ・オン、オムニ・オフ ×			
ノート ナンバー 音域	28~103 *****		21~108 21~108			
ペロシティ ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH、V=1~127 × 9nH、V=0		○ V=1~127 ×			
アフター キー別 タッチ チャンネル別	× ×		× ×			
ピッチ・ベンダー	×		×			
コントロール チェンジ	07 × 11 × 64 ○ 66 ○ 67 ○ 121 ×		○ ○ ○ ○ ○ ○		※1	ボリューム エクスプレッション ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル リセットオールコントローラー
プログラム チェンジ 設定可能範囲	○ 0~4 *****		○ 0~4 0~4			
エクスクルーシブ	○		○			
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チェーン	× × ×		× × ×			
リアル クロック タイム コマンド	× ×		× ×			
その他 ローカル ON/OFF オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	× × ○ ×		○ ○ (123~125) ○ ×		※2	
備考	※1 マルチ・ティンバーモードON時 ※2 123 はオムニOFF時またはマルチ・ティンバーモードON時					

モード 1:オムニ・オン,ポリ モード 2:オムニ・オン,モノ ○:あり
モード 3:オムニ・オフ,ポリ モード 4:オムニ・オフ,モノ ×:なし

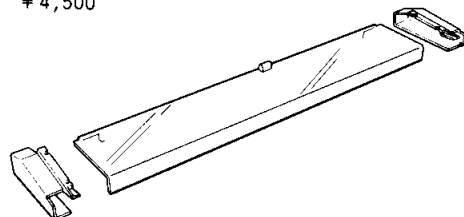
19

仕様

- 鍵盤：76鍵(E₀~G₆)イニシャルタッチ付
- 音色：ピアノ、クラビノーバトーン、エレクトリックピアノ、ハーブシコード、オルガン
- 効果・機能：デモ演奏、デュアル、トランスポーズ、ピッチコントロール
- コントロール：電源スイッチ、ボリューム、ソフト/ソステヌートペダル、ダンパーペダル
- 付属端子：ヘッドホン端子、オプション端子(IN L, IN R, OUT L, OUT R)、MIDI端子(IN, OUT)
- メインアンプ：10W×2
- スピーカー：16cm×2
- 定格電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：30W
- 外装：仕上げ…ブラック/ブラックローズウッド調仕上げ、
間口…125.3cm、奥行…46.7cm、
高さ…80.4cm、重量…40kg
- 付属品：譜面立て、トップカバー

オプション(別売品)のご紹介

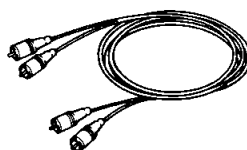
収納具付キーカバー・KC-761(CLP-260用)
¥4,500



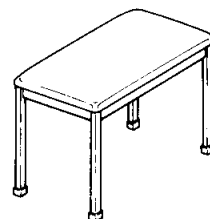
ヘッドホン・HPE-5
¥5,500



オーディオ接続コード・PSC-3
¥1,000



イス・BC-7
¥8,000



クラビノーバ用曲集

クラビノーバ・ファン・シリーズ

使いやすさいっばいの初心者向けの曲集です。

- ・クラビノーバ・ファン Vol.1 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン Vol.2 ¥1,000
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル ディズニー名曲集 ¥1,200
- ・クラビノーバ・ファン・スペシャル クリスマス名曲集 ¥1,000

入門書/独習書

- ・クラビノーバによるバイエル伴奏集 ¥1,300
レッスンから発表会まで、幅広くご活用ください。

キーボードサラダ

最新のヒット曲やスタンダードなどを、やさしくアレンジした曲集です。

—隔月刊偶数月20日発売— 各¥580

※表示の価格には、消費税は含まれていません。

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

●本機の保証は、保証書によりご購入から満1ヵ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

(日本国内のみ有効)

●保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、お買い上げ店にご連絡ください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011(513)5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022(236)0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL. 025(243)4321
松本サービスステーション	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL. 0263(32)5930
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL. 03(255)2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044(434)3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 0534(65)1158
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 052(652)2230
京都サービスセンター	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL. 075(361)6470
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06(877)5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店內 TEL. 078(321)1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL. 0878(22)3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL. 082(874)3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092(472)2134
[本社]	
電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL. 0534(65)1158

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1 1 50 ヤマハセンター
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.011(512)6114

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2 2 10 住友生命仙台青葉通りビル
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.022(222)6141

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7 9 18 パールビル
クラビノーバ・ポータブル楽器営業課 TEL.03(572)3130

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1 18 28
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.052(201)5140

大阪支店 / 〒542 大阪市中央区南船場3 12 9 心斎橋プラザビル東館
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.06(252)7541

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1 1 18
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.082(244)3748

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
エレクトーン・クラビノーバ推進課 TEL.092(472)2152

本社
楽器営業本部
電子楽器営業部
クラビノーバ営業課 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(60)3275

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社